

2025年3月期 第3四半期 決算説明会

東海旅客鉄道株式会社

2025年2月3日

目次

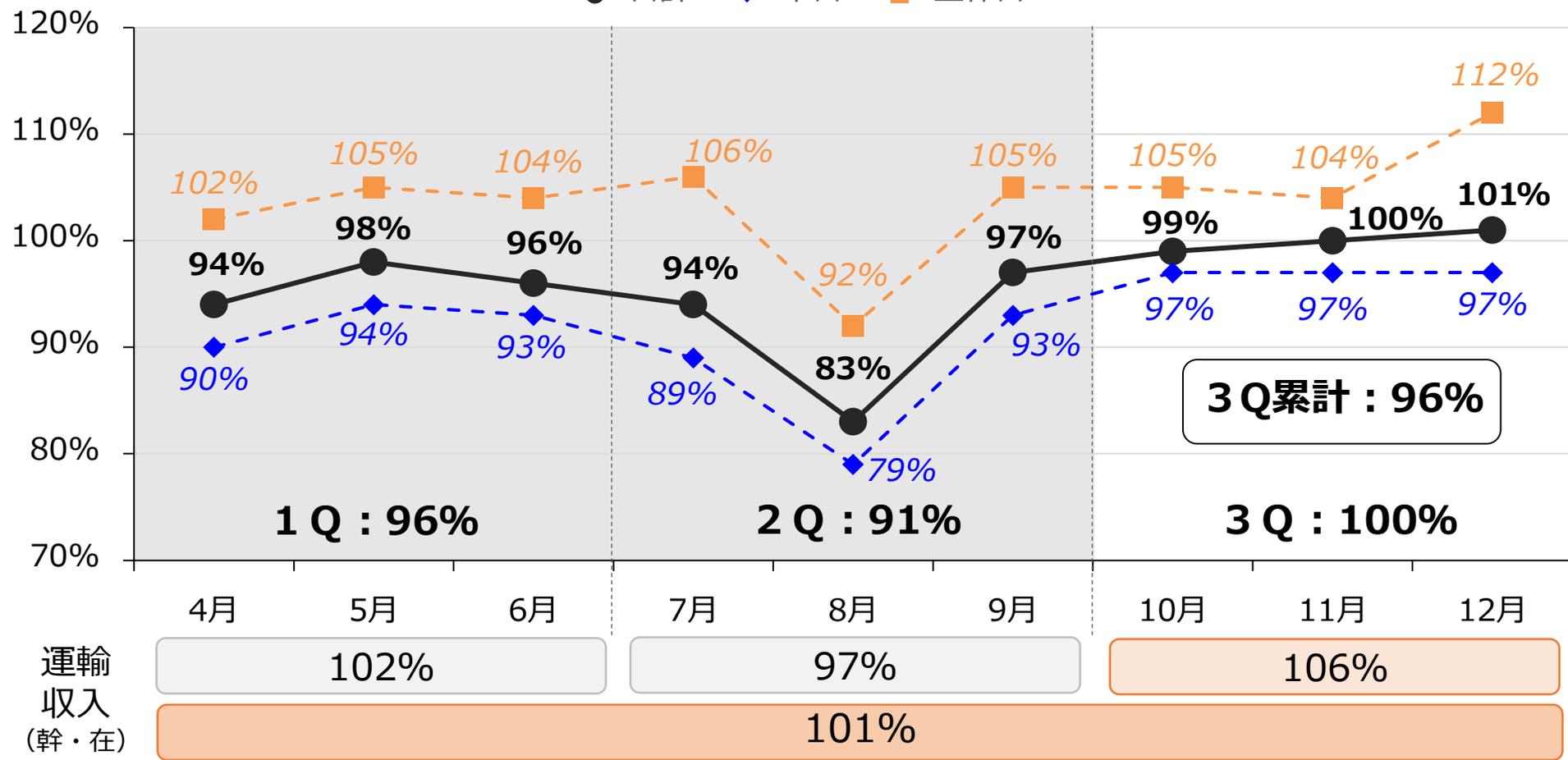
I	2025年3月期第3四半期	決算実績等	… 3
II	各種施策の状況		… 9
III	中央新幹線計画の状況		…13

I 2025年3月期第3四半期 決算実績等

東海道新幹線のご利用状況と運輸収入

■ 東海道新幹線のご利用状況（東京口、2018年度比）

● 合計 ◆ 平日 ■ 土休日



※2018年度比

- 観光利用中心の土休日が好調な傾向が続く
- ビジネス利用が中心の平日のご利用もこれまでのトレンドと比べて回復
- 3 Qの運輸収入は、業績予想を268億円上回る

年末年始期間（12/27～1/5）のご利用状況

■ 年末年始期間中の新幹線のご利用状況

	前年度比 (同日比)	2018年度比 (1日平均)
のぞみ	109%	107%
ひかり	107%	103%
こだま	106%	96%
新幹線合計	108%	105%



「のぞみ」全席指定席の
お知らせ（ポスター）

- 「のぞみ12本ダイヤ」を活用し、十分な輸送力を確保したほか、曜日配列等の影響でご利用はコロナ禍前の水準を上回った。
- 年末年始期間は「のぞみ」を全席指定席で運行。
- 今年3月のダイヤ改正から、東海道・山陽新幹線を運行する全ての「のぞみ」の3号車を自由席から指定席に変更。

損益計算書（連結）

（単位 億円、％）

	令和5年度 累計	令和6年度 累計	増減	前期比	主な増減要因
営業収益	12,730	13,680	950	107.5	
運輸業	10,427	11,176	748	107.2	運輸収入の増
流通業	1,131	1,204	72	106.4	百貨店・駅店舗の売上の増
不動産業	372	386	14	103.8	駅商業施設の賃料収入の増
その他	797	912	114	114.4	鉄道車両等製造業・ホテル業の売上の増
営業費	7,704	7,841	136	101.8	
営業利益	5,025	5,839	813	116.2	
営業外損益	△ 474	△ 429	44	90.5	
営業外収益	147	185	37	125.4	運用利息
営業外費用	622	614	△ 7	98.8	
経常利益	4,551	5,409	858	118.9	
特別損益	△ 9	△ 19	△ 10	213.8	
税金等調整前四半期純利益	4,541	5,389	847	118.7	
法人税等	1,329	1,586	257	119.4	
四半期純利益	3,212	3,803	590	118.4	
非支配株主に帰属する 四半期純利益	25	34	9	137.0	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,187	3,768	580	118.2	

（注）営業収益の内訳は、セグメント別の外部顧客への売上高

損益計算書（単体）

(単位 億円、%)

	令和5年度 累計	令和6年度 累計	増減	前期比	主な増減要因
営業収益	10,580	11,334	753	107.1	
うち運輸収入	10,038	10,765	727	107.2	新幹線+677、在来線+50 (参考)平成30年度比 101.4%
営業費	5,841	5,826	△ 15	99.7	
人件費	1,316	1,333	16	101.3	ベースアップによる増
物件費	2,709	2,740	31	101.2	
動力費	430	423	△ 6	98.5	
修繕費	911	945	33	103.7	新幹線電気修繕・新幹線車両修繕の増
業務費	1,367	1,371	3	100.3	
租税公課	320	334	13	104.3	
減価償却費	1,494	1,417	△ 77	94.8	新幹線車両
営業利益	4,739	5,508	768	116.2	
営業外損益	△ 487	△ 446	41	91.6	
営業外収益	138	178	39	128.3	運用利息
営業外費用	626	624	△ 1	99.7	
経常利益	4,251	5,061	809	119.1	
特別損益	1	0	△ 0	55.3	
税引前四半期純利益	4,252	5,062	809	119.0	
法人税等	1,246	1,488	241	119.4	
四半期純利益	3,006	3,573	567	118.9	

通期の業績予想【連結・単体】

■ 損益計算書

(単位 億円、%)

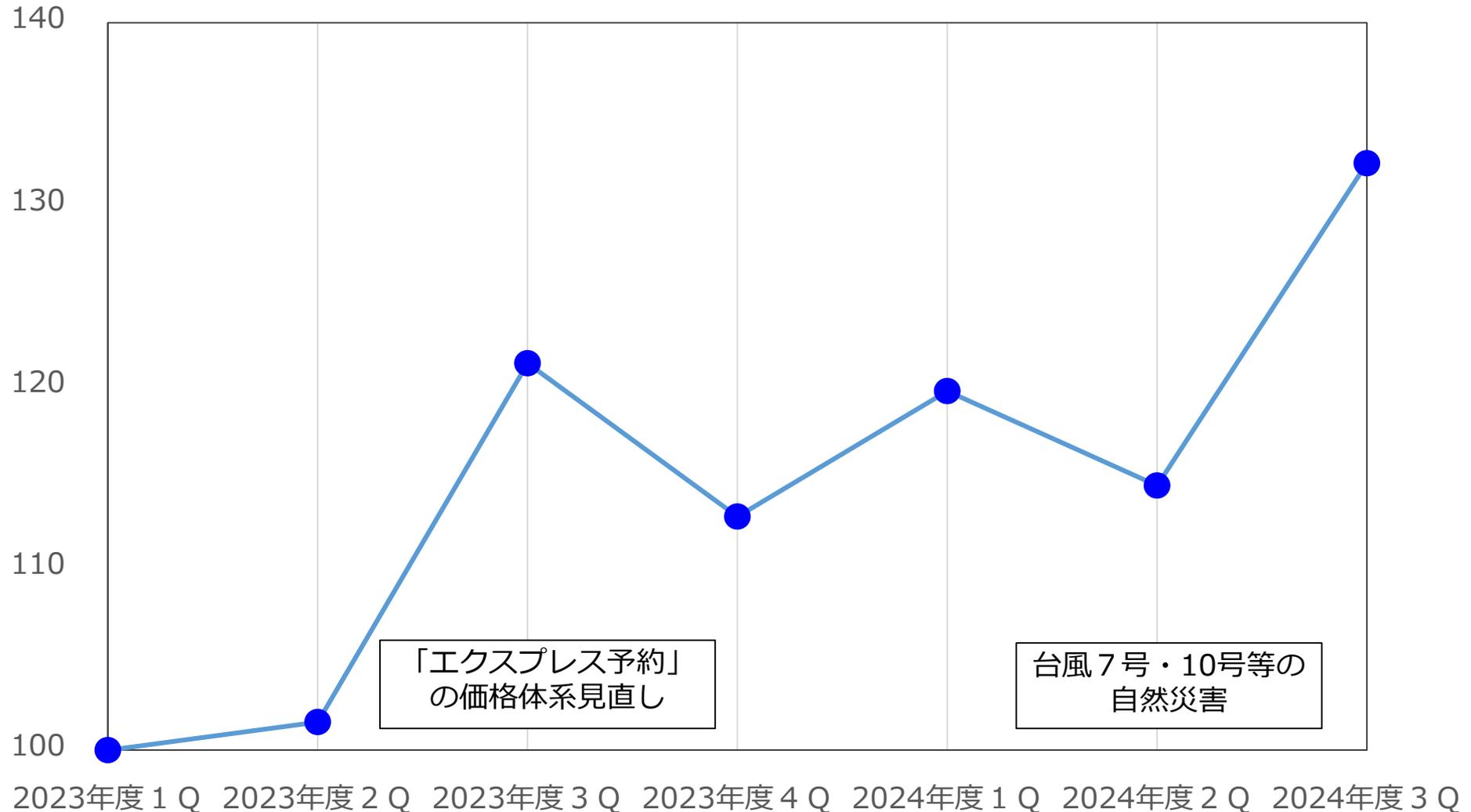
	令和5年度 (実績) A	令和6年度 (前回予想) B	令和6年度 (今回予想) C	対前回予想		対前年実績	
				増減 C-B	比率 C/B	増減 C-A	比率 C/A
【連結】							
営業収益	17,104	17,620	17,880	260	101.5	775	104.5
営業費	11,030	11,380	11,380	-	100.0	349	103.2
営業利益	6,073	6,240	6,500	260	104.2	426	107.0
経常利益	5,469	5,630	5,890	260	104.6	420	107.7
親会社株主に帰属する当期純利益	3,844	3,920	4,100	180	104.6	255	106.7
【単体】							
営業収益	14,173	14,560	14,820	260	101.8	646	104.6
うち運輸収入	13,428	13,820	14,080	260	101.9	651	104.9
営業費	8,510	8,700	8,700	-	100.0	189	102.2
人件費	1,722	1,760	1,760	-	100.0	37	102.2
物件費	4,335	4,570	4,570	-	100.0	234	105.4
動力費	558	590	590	-	100.0	31	105.6
修繕費	1,813	1,900	1,900	-	100.0	86	104.8
業務費	1,962	2,080	2,080	-	100.0	117	106.0
租税公課	437	440	440	-	100.0	2	100.5
減価償却費	2,015	1,930	1,930	-	100.0	△ 85	95.8
営業利益	5,663	5,860	6,120	260	104.4	456	108.1
経常利益	5,045	5,240	5,500	260	105.0	454	109.0
当期純利益	3,587	3,700	3,880	180	104.9	292	108.1

Ⅱ 各種施策の状況

東海道新幹線のビジネス需要の状況

○ 「エクスプレス予約」の主要な法人会員の利用実績は増加傾向

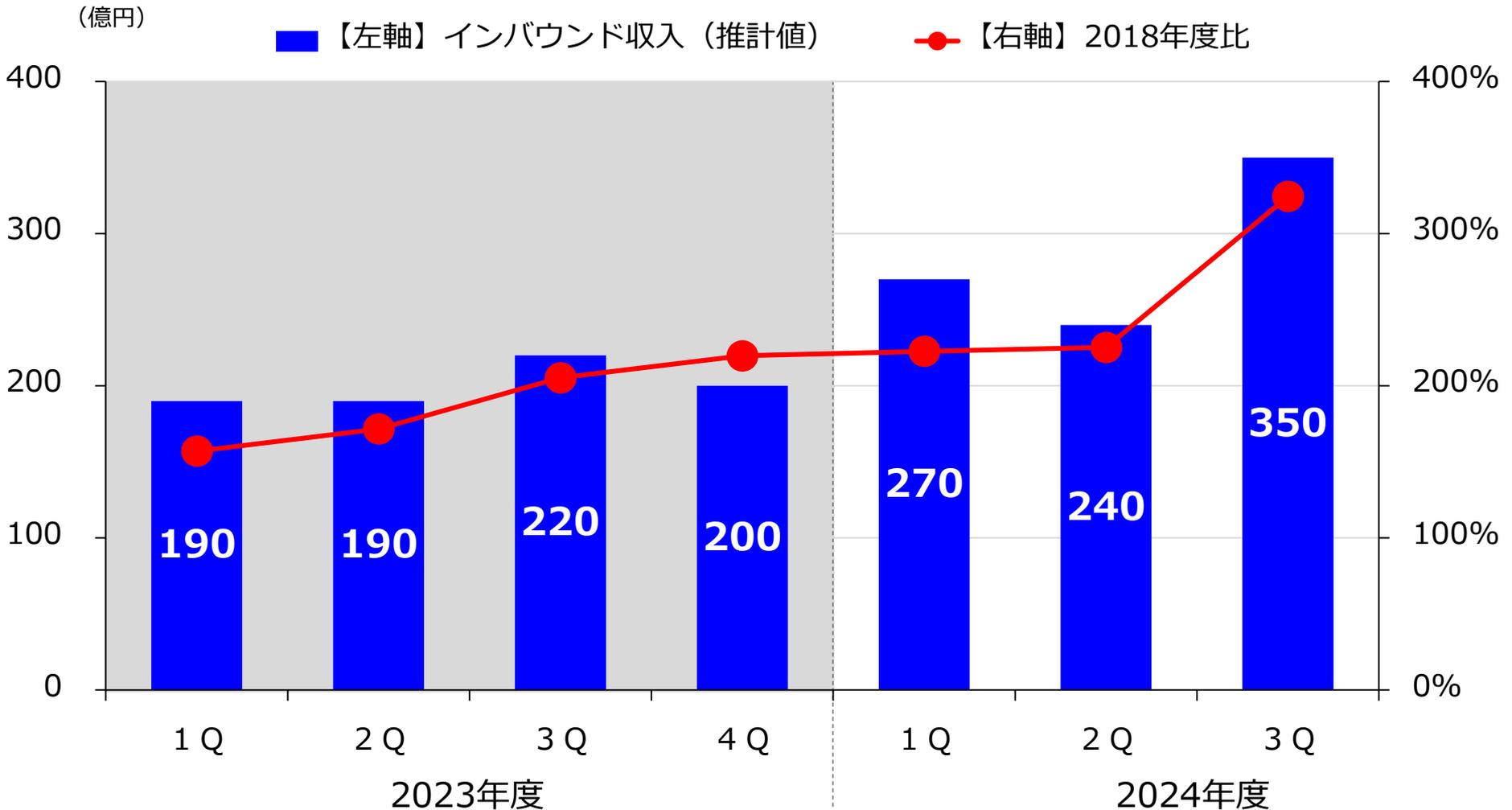
■ EX法人会員（主要200社）利用額の推移（平日1日平均、2023年1Qを100とする）



インバウンドの状況

○ 3Q累計インバウンド収入（推計値）は約870億円

※インバウンド収入（推計値）は10億円未満切捨





東海道新幹線開業60周年出発式



東海道新幹線×「味ぽん®」60周年！
特別記念コラボレーション企画

東海道新幹線×大関「ワンカップ®」
60周年記念特別企画

2025アムール・デュ・ショコラ
「ショコラトレイン」

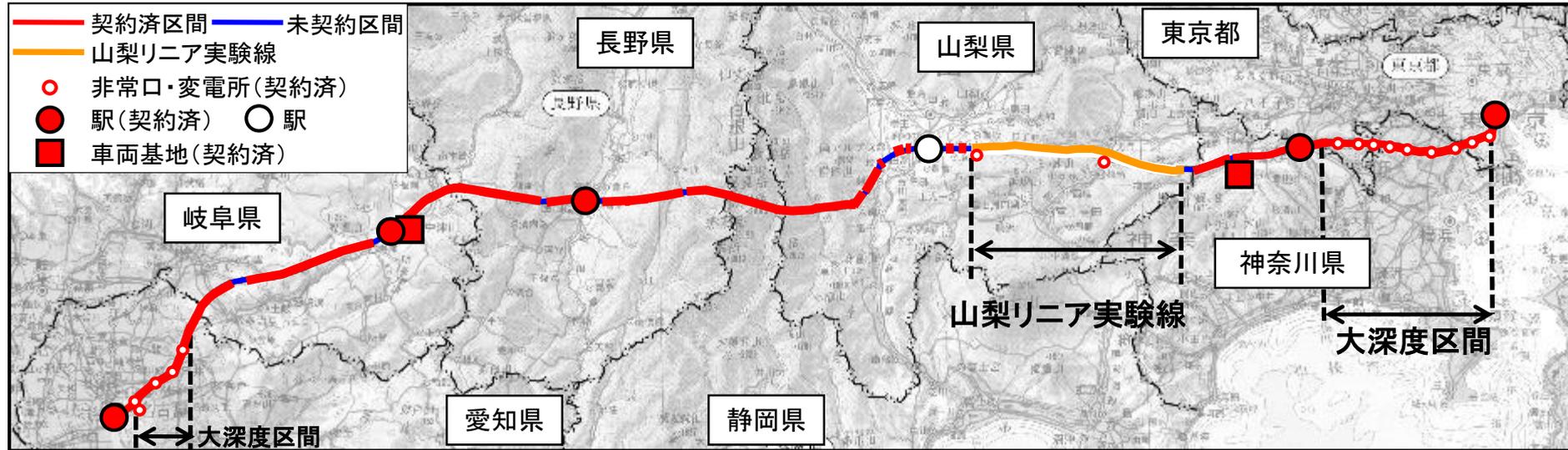
- これまでのご愛顧に感謝し、様々な企画を展開
- 当社や東海道新幹線への注目度を高め、更なるご利用の拡大に繋げる

Ⅲ 中央新幹線計画の状況

【本体工事契約箇所 (2024.12.31現在)】

※本体工事契約区間等は概ねの位置を示したものです。

※この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の100万分の1日本を複製したものです。(承認番号 平25情複、第310号)



第一中京圏トンネル
(坂下西工区)



天竜川橋りょう
橋脚工



第四南巨摩トンネル
(東工区)
本坑掘削工



関東車両基地 (仮称)
安全祈願式

【南アルプストーンネル 静岡工区】

《大井川の水資源及び南アルプスの生態系等の環境保全に関する取組み》

- 水資源と環境保全に関する国土交通省の有識者会議の報告書に基づいて、静岡県等と対話を重ねています。
- 昨年11月24日に大井川流域8市2町の首長との意見交換会を行いました。地域の方々に直接ご説明する場について、流域市町とご相談しながら準備を進めています。
- 1月30日に鈴木静岡県知事と社長が面会し、静岡県等との対話状況や開業後の静岡県のメリット等について意見交換を行いました。
- 昨年11月20日に山梨県側から進めていた高速長尺先進ボーリングが県境を越えて静岡県内に入りました。ボーリング調査は昨年12月6日に一旦終了し、1月8日に山梨県内の先進坑の掘削を再開しました。



鈴木静岡県知事と社長の面会

【大深度区間のシールドトンネル工事】

- 第一首都圏トンネル梶ヶ谷工区及び東百合丘工区では、引き続き本格的な掘進を進めています。
- 第一首都圏トンネル北品川工区及び第一中京圏トンネル坂下西工区では、調査掘進が完了しました。
- 第一首都圏トンネル小野路工区及び第一中京圏トンネル名城工区では、調査掘進を進めています。



第一首都圏トンネル（北品川工区）
調査掘進完了

本資料に記載されている将来の計画や見込み数値等は、当社が現在入手可能な情報に基づく見通しであり、リスクや不確実性を含んでいます。潜在的なリスクや不確実性の例としては、経済動向や事業環境、消費動向、当社および子会社における他社との競合状況、法律や規制等の変更等が挙げられます。

(参考) 令和6年度第3四半期セグメント情報

【実績】

【通期の業績予想】

(単位 億円、%)

	令和5年度 第3四半期 実績 A	令和6年度 第3四半期 実績 B	対前年実績	
			増減 B-A	比率 B/A
営業収益	12,730	13,680	950	107.5
運輸業	10,511	11,264	753	107.2
流通業	1,185	1,267	82	106.9
不動産業	619	636	17	102.9
その他	1,672	1,825	152	109.1
調整額	△ 1,258	△ 1,313	△ 55	104.4
セグメント利益 (営業利益)	5,025	5,839	813	116.2
運輸業	4,684	5,453	768	116.4
流通業	93	114	21	122.6
不動産業	178	192	14	108.2
その他	80	79	△ 1	98.4
調整額	△ 11	△ 0	10	5.3

	令和6年度 通期業績予想 (前回) C	令和6年度 通期業績予想 (今回) D	対前回予想	
			増減 D-C	比率 D/C
	17,620	17,880	260	101.5
運輸業	14,470	14,730	260	101.8
流通業	1,680	1,680	-	100.0
不動産業	850	850	-	100.0
その他	2,630	2,630	-	100.0
調整額	△ 2,010	△ 2,010	-	100.0
	6,240	6,500	260	104.2
運輸業	5,790	6,050	260	104.5
流通業	140	140	-	100.0
不動産業	210	210	-	100.0
その他	120	120	-	100.0
調整額	△ 20	△ 20	-	100.0

(注) 1. セグメント別の営業収益は、外部顧客への売上高のほか、他セグメントへの売上高を含む

2. 「調整額」欄は、セグメント間取引の相殺消去

(参考) 主な子会社の実績・業績予想 (連結修正前)

○実績

(億円)

	営業収益			営業利益			経常利益		
	2023年度 3Q実績	2024年度 3Q実績	前期比	2023年度 3Q実績	2024年度 3Q実績	前期比	2023年度 3Q実績	2024年度 3Q実績	前期比
JR東海高島屋	405	457	113.0%	40	58	144.9%	42	61	145.0%
JRセントラルビル	244	250	102.7%	33	34	105.6%	33	34	104.2%
JR東海ホテルズ [※]	193	213	110.2%	19	21	108.9%	19	22	112.1%
日本車両	579	692	119.6%	38	41	108.0%	41	45	109.8%
				日本車両	四半期純利益		35	37	107.0%

○業績予想

(億円)

	営業収益				営業利益				経常利益			
	2023 年度 実績	2024 年度 計画 (前回)	2024 年度 計画 (今回)	前回 vs. 今回	2023 年度 実績	2024 年度 計画 (前回)	2024 年度 計画 (今回)	前回 vs. 今回	2023 年度 実績	2024 年度 計画 (前回)	2024 年度 計画 (今回)	前回 vs. 今回
JR東海高島屋	571	628	628	100.0%	66	84	84	100.0%	69	87	87	100.0%
JRセントラルビル	329	340	340	100.0%	31	33	33	100.0%	31	33	33	100.0%
JR東海ホテルズ [※]	260	274	274	100.0%	24	17	17	100.0%	24	17	17	100.0%
日本車両	866	900	900	100.0%	57	53	53	100.0%	59	55	55	100.0%
					日本車両	当期純利益			51	48	48	100.0%

(参考) 輸送量の推移 (月次利用状況)

◆月次利用状況 Monthly passenger volume

(%)

期間 Period	新幹線 Shinkansen						在来線 Conventional Railway		
	東京口 Tokyo Gate					大阪口 Osaka Gate	特急等 Express	名古屋近郊 Nagoya Area	
	合計 Total	のぞみ Nozomi	ひかり Hikari	こだま Kodama	平日 Weekdays	土休日 Weekends			合計 Total
24/04	109 (94)	114 (99)	97 (84)	105 (85)	110 (90)	109 (102)	109 (96)	105 (89)	105 (94)
24/05	106 (98)	108 (102)	98 (90)	103 (90)	109 (94)	102 (105)	105 (100)	99 (89)	106 (93)
24/06	109 (96)	113 (102)	96 (86)	105 (87)	109 (93)	106 (104)	109 (100)	103 (88)	101 (91)
24/04-06	108 (96)	112 (101)	97 (87)	104 (87)	110 (92)	104 (103)	107 (99)	102 (89)	104 (93)
24/07	102 (94)	106 (98)	89 (84)	104 (89)	102 (89)	105 (106)	103 (98)	101 (118)	105 (96)
24/08	95 (83)	97 (87)	90 (78)	91 (76)	94 (79)	94 (92)	96 (86)	100 (89)	100 (86)
24/09	104 (97)	107 (102)	93 (87)	100 (88)	106 (93)	99 (105)	104 (99)	100 (98)	101 (97)
24/07-09	100 (91)	103 (95)	91 (83)	98 (84)	100 (86)	99 (102)	101 (94)	100 (100)	102 (93)
24/04-09	104 (93)	107 (98)	94 (85)	101 (86)	105 (89)	102 (102)	104 (96)	101 (94)	103 (93)
24/10	105 (99)	109 (105)	94 (88)	102 (89)	106 (97)	106 (105)	107 (104)	102 (100)	104 (94)
24/11	105 (100)	108 (105)	96 (89)	104 (90)	107 (97)	102 (104)	107 (103)	100 (97)	104 (93)
24/12	106 (101)	108 (106)	102 (94)	104 (90)	104 (97)	111 (112)	108 (105)	100 (96)	102 (95)
24/10-12	106 (100)	108 (105)	97 (90)	103 (89)	106 (97)	107 (107)	107 (104)	100 (98)	103 (94)
24/04-12	104 (96)	108 (100)	95 (87)	102 (87)	105 (92)	103 (104)	105 (99)	101 (95)	103 (93)

(※1)カッコ内は、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前の2018年度との比較。

Note1: Numbers in parentheses are compared to FY2018 (before the decline due to the COVID-19 pandemic).

(※2)新幹線・在来線特急等は特定の駅間における月累計断面輸送量の対前年比。

在来線名古屋近郊は自動改札集計による乗車人員合計の対前年比。※多客期においては定期外の乗車人員に限る。

Note2: The data of the Shinkansen and Express is based on the total passenger volume of each month at certain points.

The data of the Nagoya area is based on the passenger ridership of each month counted by automatic ticket gates.

※The data of the Nagoya area regarding the peak holiday seasons is based on the passenger ridership excluding commuter passes.

(参考) 輸送量の推移 (多客期利用状況)

◆多客期利用状況 (東京口) Passenger volume during the peak holiday seasons (Tokyo Gate)

・ゴールデンウィーク “Golden Week” Holidays

期間 Period	新幹線 Shinkansen				在来線 Conventional Railway	
	合計 Total	のぞみ Nozomi	ひかり Hikari	こだま Kodama	特急等 Express	名古屋近郊 Nagoya Area
4/26~5/6	102 (99)	101 (100)	106 (100)	101 (93)	98 (84)	107 (95)

・お盆期間 Summer Holidays

期間 Period	新幹線 Shinkansen				在来線 Conventional Railway	
	合計 Total	のぞみ Nozomi	ひかり Hikari	こだま Kodama	特急等 Express	名古屋近郊 Nagoya Area
8/9~8/18	107 (93)	108 (95)	113 (93)	97 (79)	102 (81)	115 (93)

・年末年始 Winter Holidays

期間 Period	新幹線 Shinkansen				在来線 Conventional Railway	
	合計 Total	のぞみ Nozomi	ひかり Hikari	こだま Kodama	特急等 Express	名古屋近郊 Nagoya Area
12/27~1/5	108 (105)	109 (107)	107 (103)	106 (96)	111 (96)	106 (101)

(※1)カッコ内は、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前の2018年度との比較。

Note1: Numbers in parentheses are compared to FY2018 (before the decline due to the COVID-19 pandemic).

(※2)新幹線・在来線特急等は特定の駅間における月累計断面輸送量の対前年比。

在来線名古屋近郊は自動改札集計による乗車人員合計の対前年比。※多客期においては定期外の乗車人員に限る。

Note2: The data of the Shinkansen and Express is based on the total passenger volume of each month at certain points.

The data of the Nagoya area is based on the passenger ridership of each month counted by automatic ticket gates.

※The data of the Nagoya area regarding the peak holiday seasons is based on the passenger ridership excluding commuter passes.

(参考) 月次営業概況 (商業施設・ホテル)

◆商業施設

Commercial Facilities

ジェイアール名古屋タカシマヤ、及び タカシマヤ ゲートタワーモール JR Nagoya Takashimaya and Takashimaya Gate Tower Mall		
期間 Period	売上高合計 2025年2月期 (百万円) Total Sales FY2024: 2024.3~2025.2 (Millions of Yen)	前年同月比 (%) YoY Comparison
24/03	19,158	113.9
24/04	16,311	113.9
24/05	17,393	119.6
24/06	18,327	126.6
24/07	17,621	113.6
24/08	14,357	108.3
24/09	16,167	107.0
24/10	16,950	101.3
24/11	19,025	114.6
24/12	23,767	106.8

◆ホテル

Hotels

名古屋 Marriott アソシアホテル Nagoya Marriott Associa Hotel		名古屋 JR ゲートタワーホテル Nagoya JR Gate Tower Hotel (※)		
期間 Period	稼働率 (%) Occupancy Rate	前年同月比 増減 YoY Inc./Dec.	稼働率 (%) Occupancy Rate	前年同月比 増減 YoY Inc./Dec.
24/04	79.5	6.8	84.1	-0.6
24/05	77.4	6.0	81.0	-0.3
24/06	76.2	3.9	86.6	3.8
24/07	79.0	9.5	87.9	2.5
24/08	72.4	-3.6	75.1	-12.9
24/09	73.4	-3.9	73.6	-11.9
24/10	83.4	0.4	79.2	-10.2
24/11	80.9	-5.3	86.8	-7.0
24/12	73.3	-5.6	82.8	-7.2

(※) 各月の数値は速報値のため、確定値とは異なる場合がある。

Note: The number for each month comes from a quick estimation, which might differ from the actual results.